

MECCだより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 第41号 2016年 7月

もくじ

理事長就任挨拶	稲田 昂
理事長退任にあたって	泉 浩二
「中央防波堤海と陸の見学会」参加報告	野村 和男
EA21 審査指導技術情報交換会報告	稲田 昂
平成28年度環境カウンセラー全国連合会（ECU）総会報告	一條美智子
エコアクション(EA)21 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー報告	昆野 俊男

理事長就任挨拶

いなだ たかし
稲田 昂

2016年7月から2018年6月まで2年間の任期でMECCの理事長の役を受けることになりました。よろしくお願いたします。

環境問題は幅広く、文化や経済活動とのかかわりなど複雑です。世界的規模、地域的規模の環境問題に関しては、この20年の間に公害、化学物質対策、廃棄物対策など改善が進められたものもあれば、地球温暖化、自然・生態系、途上国の公害等まだまだこれからと言った課題もあります。

一方、環境カウンセラー制度の創設後間もなくMECCも立ち上がり、MECCとしても2017年には20年の節目を迎えます。ここ数年はMECCの過去20年を振り返り、MECCと環境カウンセラー一人ひとりが今後できうることも考え、行動する時期になるものと思います。

これまでMECC理事長には市民部門の方がなられており、エコアクション21や省エネルギーが専門の事業者部門の私がどれだけ理事長としての務めができるか不安があるところです。会員、理事、そのほか関連する組織の皆様のご指導・ご協力をいただき、MECCとして、そして会員の方それぞれが一層活躍・活動していただけるよう努力していきたいと思っております。



理事長退任にあたって

泉 浩二

2014年7月に思いがけず理事長に就任して以来、何とか2年間職責を果たし、この度稲田さんに後任を託すことになり、肩の荷が下りました。

環境カウンセラー制度の制度疲労が言われていますが、各自の信じる場面、テーマでの活動を

地道に続けてゆくことしかないと考えております。環境カウンセラーの役割である、持続可能社会への「関心・理解・参加」を促す活動に向けて、皆様には新体制へのご支援をよろしくお願いたします。

「中央防波堤海と陸の見学会」参加報告

野村 和男

今年3月7日(水)、MECC望月氏の担当の下、東京都環境公社主催の埋め立て処分場の「海と陸からの見学会」に筆者を含む14名が協議会から(見学会参加者全体では45名)参加した。

当日は竹芝小型船ターミナルに午前10時に集合、東京都所有の「新東京丸」に乗船し、新海面埋め立て処分場の周辺をまず海側から見学した。



新東京丸外観

防波堤を過ぎ、新海面処分場埋立地と進み、この処分場もあと数年後には一杯になってしまい、これ以上東京湾では埋め立て処分ができなくなる。我々も廃棄物の分別・減量化・資源化を進めなければならないと強く思った。さらに反対側の防波堤まで来ると東京ゲートブリッジが姿を現し、橋をくぐると海の森予定地(ゴミと建設発生土で埋められたゴミの山)が見え、苗木を植え美しい森に生まれ変わるプロジェクトが始まっている。緑化を進め公園にし、住みよい所に変身させていくことにより、CO₂削減を進めている。



見学航路

竹芝小船型ターミナルに戻り、バスに乗り換えて、テレコムセンタービルにて昼食を済ませ、その後、東京ゲートブリッジから中央防波堤内側のゴミ処理施設・外側埋め立て処分場を車中から見学した。

見学後、環境局中央防波堤庁舎10階の展望室にて、埋め立て処分場に関するビデオ研修があり、東京テレポート駅にて解散した。

50年前頃は、東京夢の島と言われ生ゴミや不燃物のゴミなどをそのまま埋め立てていた為、カモメやハエが異常発生し、大騒動を引き起こした。現在は生ゴミは焼



夢の島(埋め立て時)

却などの中間処理をした後に埋め立てられており、以前のようなカモメやカラスが群がる光景はない。ゴミ埋立量も

40年前の320万tから54万tへ、1/5に減少した。

埋立方法もゴミの上に土を覆いその上にゴミを置き、またその上に土をかぶせる方法を行っている。

また、雨の時には埋立地から浸透水が出る為、外周道路脇に設けられた集水池に集められる。その後、排水処理場に送水し、



現在の埋め立て状況

様々な方法で浄化処理をされて、砂町水再生センターへと送られ、水処理された後に東京湾へ

流れていくプロセスとなっている。また、ゴミ埋立地より出るメタンガスを集めて発電を行っている。

こんなに長い歳月を経て環境問題が色々な方策等により、変化してクリーンな街へと生まれ変わったことは、政策や人々の努力の賜物であると考えられる。一方世界では、発展途上国が昔の日本と同じような公害問題を抱えている。日本は公害問題の経験者として、もっと世界にノウハウを差し出さなければならないと考えさせられた見学会であった。

EA21 審査指導技術情報交換会報告

幹事役 稲田 昂

MECCに所属するエコアクション21（以下、EA21と略）の審査人の有志で、EA21 審査についての勉強会を昨年（2015年）秋から始めています。

MECCの事業としての勉強会の名称は「EA21 審査指導技術情報連絡会」ですが、名称にこだわらず、連絡会や情報交換会と呼んでいます。

昨年秋には参加のメンバーから審査やコンサルティングにおける疑問点、問題点、工夫した点の課題を1件ごとに「情報シート」に書き出して、その内容を幹事役が審査人や事業者の利用者別、法規制、環境技術と言った内容別に分類してエクセルシートに整理しました。これまでのところ「情報シート」は約40件が作成されています。

今年の1月からは基本的に1か月に1回、夕方に約3時間ミーティング行っており、ミーティングにてエクセルシートをもとに課題別の問題点や解決方

法について議論しています。

EA21の審査やコンサルティングを行うには、認証登録制度、その手続き、環境の状況、環境法規制、設備や物品の取り扱いに関する技術など幅広くかつ深い知識と理解が求められます。EA21の審査人の個々の努力のみでは得られる情報も限りがあり、個々人で理解が異なることもありえます。また、それぞれの審査人で疑問が生じてそのままにしていることもあります。この勉強会が審査人はじめEA21関係者の情報共有と平準化につながることを期待しています。



平成 28 年度環境カウンセラー全国連合会（ECU）総会報告

理事 一條 美智子

6月24日（金）掲題総会がエッサム神田ホール1号館で開催され、ECU理事の筆者が参加した。

第一号議案 平成27年度事業報告

- ・本部が神田に移転、これに伴う定款変更
- ・元環境大臣佐藤鉄夫氏がECU名誉顧問として就任
- ・ECUが団体として環境大臣賞を受賞
- ・「環境カウンセラー制度改革提言」意見交換会を全国8か所で開催
- ・環境インストラクター応募資格取得セミナーを東京2か所、大阪、神奈川、茨木、福岡で開催
- ・COP21会議（パリ）に藤本副理事長を派遣

第二号議案 平成27年度決算報告

マイナス決算は本部移転とブロック会議出席等の経費増加による。

第三号議案 平成28年度事業計画

環境カウンセラー制度の課題明確化を中心に活動、環境省との連携を強化していく。ESD国内実施計画を突破口に環境カウンセラーの社会進出を仕掛ける。全国ネットワークの早期確立、環境教育インストラクターの養成セミナー実施強化等。

第四号議案 平成28年度予算

会員数減少により収入減の予測。環境教育インストラクターセミナー全国展開で登録者を増やす。

第五号議案定款変更

旧理事22名から今年度38名、三役は変更なし。理事定員を25名から10人以上に変更。

第六号議案 役員会選

前理事役より理事長、専務理事、副理事長7名を留任とし、新たに5名の常任理事を選任。

筆者には以下が印象に残った。

1. 会員にECUパンフレット、EC活用ハンドブック、EC活用のお願いの三種類の冊子を配布。会員増加やEC活用場の拡大にぜひ有効活用を繋いでほしいとの要請があった。
2. 初めての試みとして全国各地域でのブロック意見交換会を開催したこと。
3. 組織として環境大臣賞を受けた。
4. ECU代表が全国の仲間の声を聴いた。

以上で総会を閉会し、引き続き近藤和雄氏を講師とした記念講演（50分）が行われた。

「感染性防止に効く薬がなくなる!! ～抗生物質による環境汚染～」として、環境汚染事例として耐性菌や、単一でない抗生物質からなる化合物が誘因する耐性菌の発生等によりやがて感染症に効く薬がなくなることが警告され、抗生物質に対する無知、未経験、危機管理意識の欠如が問題点として挙げられた。

エコアクション(EA)21認証・登録事業者向けフォローアップセミナー報告

理事 昆野 俊男

平成27年度認証・登録事業者向けのフォローアップセミナー（主催：エコアクション21地域事務局東京中央）が本年2月29日、杉並区高井戸地域区民センターで開催されました。このセミナーは認証・登録事業者の維持とレベルアップを目的に毎年1回開催されており、筆者はアドバイザーとしては初めての参加で、どのようなセミナーなのか、事業者がどのような反応を示すのか興味津々でした。

今回の参加事業者は25社、1社から2人参加の事業者もあり、総勢30数人になりました。我々スタッフは松木代表以下、受付から進行、グループ担当まで9人で対応しました。

主催者挨拶につづき、中島宏機氏（経営コン

サルタント）の「業務効率化に役立つ5S」講演、犬飼健太郎氏（(株)パナ・ケミカル代表取締役）の「環境配慮型事業の創造」の事例発表があり、最後に参加事業者を業種別、規模別で6グループに分け、意見交換を行いました。

まず、「業務効率化に役立つ5S」については“5Sとは”から“5S活動の成功及び失敗事例”までを丁寧に説明されていました。ただ、まじめに話されたせいかやや紋切り型となり、参加事業者への浸透力がやや弱かったように思われました。一方、「環境配慮型事業に創造」については、代表取締役が装置開発しながらリサイクル事業を構築した実例であり、さらに話のうまさもあって、事業者の方々は感銘を受けていたように思われました。

各グループでの意見交換は、筆者の担当した「大企業」グループしかわかりませんが、「困っていること、悩んでいること」「活動で成果が出ていること」「内部監査について」等について熱心に意見交換をいただき、相互理解と相互啓発が図れたのではないかと考えています。

今回のフォローアップセミナーに参加し、認証・登録事業者の声を聴き、有形・無形の成果が得られたことを実感しました。懇親会等を企画すれば、さらに、事業者と審査人の相互理解が進むものと思われま



編集後記：記事にもあります通り、新たに当協議会の理事長として稲田氏が就任しました。新理事長のもと、会員一同で当会の発展と環境カウンセラーの活用場面の拡大に努めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。泉前理事長には2年間当会の運営にご尽力いただき、改めてお礼申し上げます。

発行者：NPO 武蔵野多摩環境カウンセラー協議会(MECC)事務局
〒180-0011 東京都武蔵野市八幡町3-1-1 稲田 昂
TEL：042-646-3822
ホームページ：<http://www.mecc.or.jp/>

編集者：望月 真